

■本実行計画の概要

「ちがいをちからに変える街。渋谷区」という未来像実現に向け、デジタル技術やデータの活用を通じて、渋谷区に関わる人々や組織の共創関係構築をエンパワーメントし、産官学民によるオープンイノベーションで都市課題を解決していく。

取組概要

多様な組織・分野・エリア・データ間の連携による渋谷一体での都市のスマート化の推進するものであり、様々な領域別サービスの実証を見込むほか、最終的に都市内での投資モデル構築を通じた社会実装を実現する。

スマートシティ推進における5つの取組み

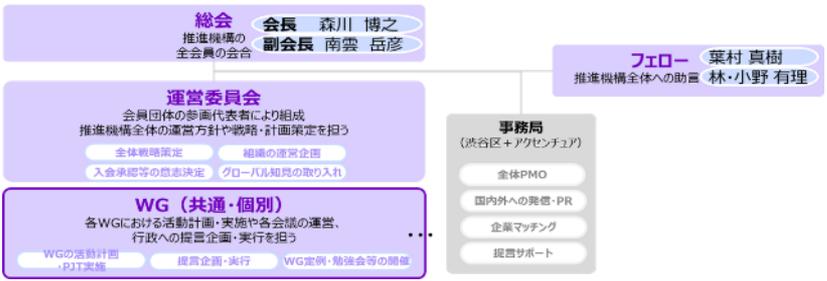
渋谷区が目指す未来像の実現に向けて、5つの取組みを推進し、渋谷区の特長多様性の力を高めていきます。



体制

<https://shibuya-data.jp/s-s-c-association/>

以下体制にて、事業企画・具体化等を実施。なお、今年度中に一社化を行い、事業推進を強化する予定。



将来像

都市における多様なアセットやデータを収集・分析し、様々なサービスの組成・実装を通じて、「個」の幸せと連動して「地域」の魅力が増幅していく **Well Being**とシティプライドの溢れる街を目指す。



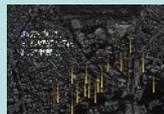
デジタル技術やデータを活用し、「個」の幸せと連動して「地域」の魅力が増幅していく

Well Beingとシティプライドの溢れる街へ



スケジュール

2023-24年度 実証(以下、例示)



25年度以降 実装

100年に1度と呼ばれる民間再開発が相次ぐ渋谷では、現状、周辺の魅力あるまちとの接続を強化し、まち全体の回遊性を高めていくことを目指している。

本実証は、快適な都市空間や賑わい創出を通じた都市の回遊性向上に向け、来街者や区民が賑わいを認知・参加・長時間滞在できるためのFunコンテンツ生成や空間活用PF環境整備を図ることで渋谷の「カオス」を再定義する取組みである。

実証事業に関する目標 (KPI)

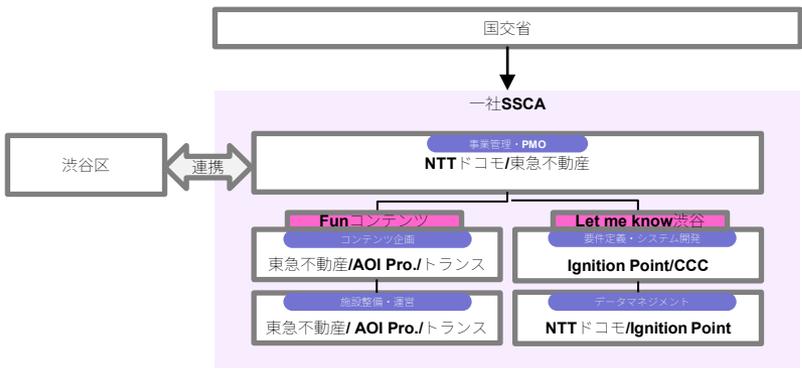
	R5	R6	R7
イベント実行数(累計)	1回	4回	9回
イベント協賛社獲得数	15社	30社	50社
満足度調査(5段階)	3.5	3.7	3.9

実行計画(全体)

渋谷での滞在時間増加のためのイベントの自然創発及び回遊性向上を目的として、初年度は人流や嗜好・行動等各種データに基づくイベントの実験的開催、及びWeb等でのイベント誘導を行うモデルを構築する。次年度以降は、データ連携基盤や3D都市モデルも活用した空間活用プラットフォームとも連携し、データとの連携も通じた多角的なイベント企画・開催や誘導を行うとともに、余剰空間の利用機会の拡張(防災、コミュニティ活動等)、イベントスペースマッチングシステム構築を通じたイベント創発も見込む。



実証事業における体制



実証事業の内容

Funコンテンツ (渋谷 pop Ups)



情報発信ツール構築 (Let me Know 渋谷)



実証事業から実装までのスケジュール

	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度
渋谷 Pop Ups	イベント実施 (実証)	イベント実施(実証)	イベント実施(定例化)
Let me Know渋谷	情報発信ツール構築 (実証)	事業者間ツール構築(実証)	情報発信ツール機能追加 (実証)
			PF実装、イベント創発

【課題・背景】都市のコモディティ化、個人ニーズの多様化を背景に、偶発的体験に出会う機会が減り、回遊性の限定感が存在する

【実証内容】(令和5年度)来街者の嗜好や行動遷移を元にイベント企画及び来街者をスポットへ誘導する情報発信ツールを制作。特定エリア内で滞在時間の向上等、来街者の行動変容を測定する

(令和6・7年度)上記取組に続き、3D都市データやデータ連携基盤に基づくその他データも取り込む形でイベントに適した余剰スペース(開発中や竣工ビル空間、遊休地含む)の可視化を通じたコンテンツ提供箇所の特選、来街者の行動パターンや嗜好等のデータ分析を通じたおすすめルートへの誘導による来街者の行動変容を測定する。加えて、イベントスペースとイベント企画者のマッチングシステム構築により、イベントが生まれやすい環境整備した、イベント創発件数の増加影響を測定する

【想定効果】渋谷における滞在時間の長期化による多様なカルチャーや賑わい創出、コミュニティ形成、消費額増等

【提供価値】企画側自主興行型も含めた時流の目玉イベントを「単発紹介」としてではなく、ジャーニーとしてレコメンド(渋谷訪問時・訪問前なども含めレコメンド)し、街区全体での回遊性向上や体験価値の創出をもたらすことで新たなカオスを創出する(まずは緊急整備地域内より開始想定)ことはもとより、例えば防災ルート提示など他用途への活用も見込まれる

【活用するテクノロジー・データ】データ：人流データ・滞在時間・嗜好データ+画像データ(スマートポール、スマートカメラなど)。実装時(令和7年度)のシステム構成想定及び令和5年度スコープは別紙("04_(SSCA) 参考資料_実装時(R7)システム構成図想定")参照。

＜都市再生緊急整備地域＞
(渋谷駅周辺地区)

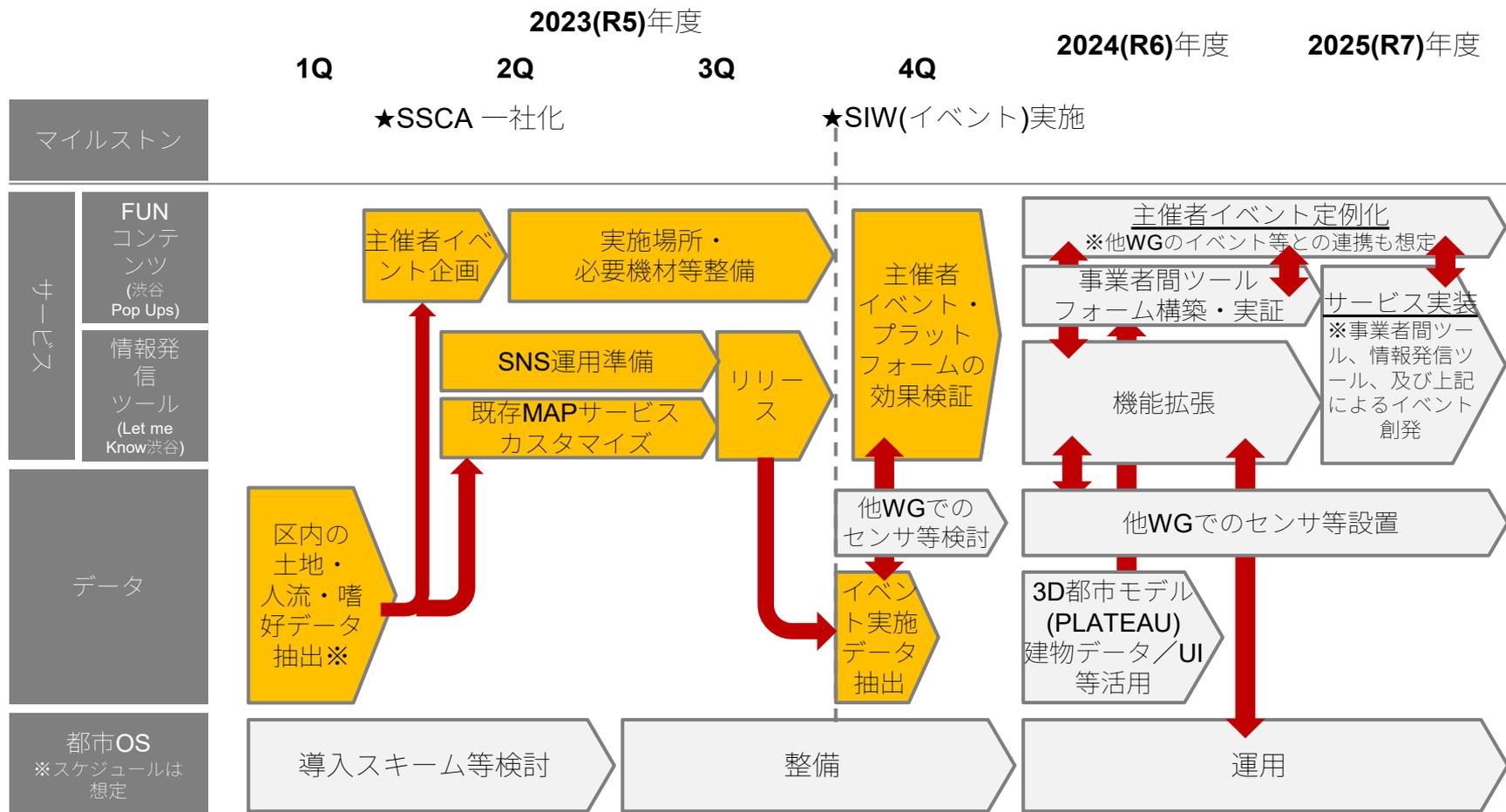


項目	該当する場合 ○を記入	概要 (以下、記載例。【 】内の内容については必ず記載)
PLATEAUを活用した取組みであること	○	【連携予定の3D都市モデル】 SSCAが本事業を通じ令和7年度までに3D都市モデルと連携 【連携方法】 事業者用ツールにおいて、イベントスペースの詳細(イベント過去実績、設備、付近の人流量・属性等)を3D都市モデルに重畳し、イベントの自然創発・地区活性化を見込む
実施済みまたは今後実施予定の市街地開発事業等の高度化に資すること	○	【市街地開発事業等の内容】 都市再生整備計画(渋谷駅周辺地区) 【関連性】 人流データを賑わい拠点創出などの空間選定に活用するほか、区におけるウォークアブル実施計画の実行にあたっての参考情報とするなど、今後、街づくり施策への活用も見込む
データオープン化やデータ連携等による施策が明確であること	○	【オープン化や連携等による施策】 渋谷駅周辺の都市再生緊急整備地域内の人流データを読み込み、都市OS側と連携することで3D都市モデルに重畳できるデータ群を増やす 【データ活用施策により期待する効果】 これまで得られていたデータが倍増し、特定の建物・エリアに閉じない、街区単位でのシミュレーション精度が向上する
デジタル田園都市国家構想交付金等を活用した事業と連携し、スマートシティの実装を図ること	○	【連携予定の事業】 デジタル地域通貨事業「ハチペイ」等 【連携方法】 上記事業を通じて取得される街区区内での人流データや属性データに加え、将来的には決済データ等も重畳・分析し、賑わい創出エリア選定やイベント導入効果検証を行う
先導性があること	○	【先導性】 既存データはもとより、ディベロッパーが保有する開発中ビルデータ等も重畳させ、将来的な都市空間の余剰も可視化することで、コンテンツ提供者の出店計画検討や回遊性向上施策等への活用をはじめ、防災・エンタメ領域との連携も可能である点が先導的である

- ・ 今回提案する事業について、実証事業から実装までの具体的なスケジュールを記載すること
- ・ ※令和7年度までの実装を原則とし、都市サービス実装タイプは令和7年度までの実装を必須とする
- ・ 令和5年度は月毎もしくは四半期程度毎の事業スケジュール、令和6年度以降は年毎に実装までのスケジュールを記載すること。

※：渋谷区の土地情報等を活用予定

凡例



SSCAにおけるスマートシティの推進に係るその他取組みは以下のとおり。
詳細は別紙 「スマートシティ実装化支援事業応募時のチェックリスト参照。

- ✓ スマートシティの取組みに関しては、長谷部区長による強力なリーダーシップの下、「ちがいを ちからに変える街。渋谷区」を掲げる渋谷区基本構想を具体化した長期基本計画における各政策分野の「スマート化」を定めた指針として、「渋谷区スマートシティ推進基本方針」が令和3年度に策定されている*。
- ✓ これを受け、令和4年度にはスマートシティ推進に向けた組織体制として、SSCAを立上げ、産官学民による英知を結集し複数領域でのサービス検討を行っているほか、会長に森川氏、副会長に南雲氏を、フェローに葉村氏、林・小野氏を迎え、都市政策やWell Being向上等に向けた助言・指導を得る形で検討を進めている**。
- ✓ また、区スマートシティ推進推進室を中心に、庁内原課とも緊密なコミュニケーションを図るなかで、区の重要施策との整合性にも配慮する形で協力を事業推進を行っており、渋谷区実施計画2023にもスマートシティ推進の位置づけが明記され、必要な予算措置もなされている***。
- ✓ 加えて、既存団体との連携も視野に協議を進めており、前述のとおり、SSCA以外の関係団体として、一般社団法人渋谷未来デザイン及び東京大学先端科学技術センターが事務局を担う「渋谷データコンソーシアム」等とも連携を予定しており、渋谷区のスマートシティ化を進めるうえで基礎となるビッグデータやオープンデータ連携を通じ、初期段階での開発・導入コストを抑えながら、クイックな実証を実施することが可能である。
- ✓ 本申請を含め、令和7年度に向け、複数領域での個別実証・実装を予定しており、そうした展開に向け、今後、スマートシティ実行計画等において、「スマートシティリファレンスアーキテクチャ ホワイトペーパー」にも準拠した形で、スマートシティの構成要素を具体化し、事業推進を確実に実行に移していく。

*https://shibuya-data.jp/pdf/shibuya_smartcity_basicpolicy_outline.pdf

**<https://shibuya-data.jp/s-s-c-association/>

***<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kusei/shisaku/shibuyaku-plan/action2023.html>